

応募の手順

- 1 実践発表の希望者・施設は、同封の「実践発表申込用紙」により、**2013年10月25日(金)必着**にて、「実行委員会事務局」にお申し込みください。
- 2 発表申込者・施設が多数で、発表時間並びに会場の関係でお断りをする場合は、先着順で決定させていただきます。**2013年11月中旬ごろ**に決定通知を送信いたします。
- 3 発表決定者・施設は、当日資料にレジュメを掲載いたしますので、決定通知に同封の様式にしたがって、**2014年1月17日(金)必着**にて、ご提出してください。
- 4 「ステージ発表」並びに「ポスター展示・説明者」は、セミナーへの参加が必要になります。**決定通知に同封する参加者募集要綱にて、セミナーのお申し込みを行ってください。**

実践発表にあたっての留意事項

お申し込み

- 発表形態を「ステージ発表」または「ポスター展示・説明」から選択し、ご希望の形態を申込用紙にご記入ください。(両方の形態をお申し込みいただくこともできます)【**申込期限:2013年10月25日(金)**】
- 申込用紙は1発表につき1枚ご記入ください。「ステージ発表」「ポスター展示・説明」の両方にお申し込みの場合は、各発表につき1枚ずつご記入ください。
- 発表のテーマ、内容を検討のうえ、事務局においてご希望の部門を変更させていただく場合もありますので、ご承知おきください。

発表準備

- 指定用紙への記入、図面及び勤務表の提出
[提出期限:2014年1月17日(金)]
- 発表時にパワーポイントを使用する場合のデータの提出
[提出期限:2014年2月17日(月)]

発表時間

- 3月15日(土)午後のうち、後日指定する25分間(質疑応答時間5分を含む)
- 発表テーマは前頁に掲載しております**10部門**となります。1テーマを選択し、実践発表申込用紙へ必要事項をご記入・ご返送ください。
- パワーポイントを使用される場合は、申込用紙に必要事項を記入してください。**発表申込時に希望した機材以外の用意はできませんので、あらかじめご了承ください。**
- 当日資料用のレジュメを期日までに提出されなかった場合は、発表の意思のないものとして準備を進めますので、ご注意ください。
- 1発表20分以内とし、最低5分以上の質疑の時間を確保してください。(合計25分間)

ポスター展示・説明

- 指定の大きさ(縦180cm×横90cm)のポスターを作成
- 当日持参し、事務局指定のパネルに貼付。

- 展示期間:3月15日(土)
15日の質疑応答の時間には、ポスターの傍らにお立ちください。
- 発表テーマは自由に設定ください。
- ポスター展示・説明は、会場備え付けのパネル1枚(縦180cm×横90cm)に実践事例などを展示して、実践事例提供者と参加者が質疑応答などを行うものです。ポスター説明の時間帯は、ご自身のポスター付近にお立ちください。
- ポスター前に長机を1本用意いたします。パンフレット、物品等を置くことができます。
- パソコンやビデオ等でプレゼンテーションをされる場合は電源を用意いたしますので、申込用紙にその旨をご記入ください。
- 発表申込時に希望されなかった場合は、その後に用意することはできませんので、あらかじめご了承ください。**
- ポスターは当日お持ちいただき、発表者ご自身で展示・撤収いただきます。

発表のお申し込み先・セミナーに関するお問い合わせ先

実践発表のお申し込みは、同封の申込書にて、下記あてにお願いいたします。
なお、大会参加のお申し込みは、後日お送りいたします開催要綱をご覧ください。

気づきを築くユニットケア全国実践者セミナー実行委員会

事務局／特養・老健・医療施設ユニットケア研究会 担当：田村・小野寺
〒981-0932 宮城県仙台市青葉区木町16番30号 シンエイ木町ビル1階
TEL:022-727-8732 FAX:022-727-8737
E-mail unit@clc-japan.com URL http://www.clc-japan.com/unit_care/

ユニットケアの 実践発表大募集!

第13回気づきを築くユニットケア全国実践者セミナー

in神戸

2014年3月15日(土)～16日(日)

神戸学院大学 有瀬キャンパス

[〒651-2180 兵庫県神戸市西区伊川谷町有瀬518]

Let's make the life of facilities

**認知症ケア専門士単位
2単位**

実践発表者には発表者単位として
1単位加算されます。

主催:気づきを築くユニットケア全国実践者セミナー実行委員会
共催:神戸学院大学／特養・老健・医療施設ユニットケア研究会

Let's make the life of facilities

「気づきを築くユニットケア全国実践者セミナー」は、2001年の岡山県笠岡市をスタートに、これまで全国7か所で全12回が開催され、毎回、多数の実践現場から、日々の取り組みが発表されてきました。

ひとくちにユニットケアと言っても、その取り組みは施設によって実にさまざまです。既存施設を活用しながら、試行錯誤を重ねてようやくユニットケアに至った取り組みがあります。

このセミナーは、「ユニットケアの基本は現場の実践にある」との考えから、現場のスタッフがケアのあり方やスタッフの育成、施設と地域との連携などの実践をまとめ、伝え合い、交わり合い、より良いものにしていく場として開催します。このセミナーでの発表を機に、「お年寄りの表情が変わった」「職員の姿勢が変わった」「ケアが変わった」など、数多くの感想が寄せられています。

第13回目となる今回も、全国の実践発表を通して、発表者と参加者がともに学び、考え合う場とすることを目的とし、神戸学院大学を会場に開催いたします。

第13回 大会概要

- 開催日：2014年3月15日(土)～3月16日(日)
- 会場：神戸学院大学 有瀬キャンパス
〒651-2180 兵庫県神戸市西区伊川谷町有瀬518
- 定員：800人
- 発表者参加費：お一人 13,000円(発表者割引適用)
※1発表につき、お二人まで割引となります。
※一般参加費 15,000円

第13回 発表募集 テーマ

第1部門

私たちがはじめた、一人ひとりをたいせつにする ケアの取り組みで変わった施設ケア(初級編)

ユニットケアに取り組むことになったきっかけや、取り組みのなかで失敗してしまったこと、悩んだことなどの体験談、また取り組みから気づいたことや見えてきたことなどについての発表を募集します。

第2部門

一人ひとりへの3大介護のあり方とその工夫(基礎編)

ユニットケアで3大介護(食事・入浴・排泄の介護)はどのように変わるのか。3大介護にまつわる苦労や工夫について、発表を募集します。

第3部門

“食”の工夫で目指す、その人らしい豊かな暮らし

食事づくりや場づくり、買い物や外食、栄養マネジメントや口腔ケアなど、その人らしい豊かな暮らしを目指す取り組みの発表を募集します。

第4部門

これまでの暮らしの継続をたいせつにした生活環境づくり

豊かに暮らすためには生活環境も欠かすことのできない要素の一つです。これまでに暮らしてきた環境をできる限り変えないための地域とのつながりや施設の設えの工夫などの発表を募集します。

第5部門

介護者家族との協働で実現する、その人らしい暮らし方

利用者に身近な存在である家族はかけがえのないたいせつな存在であり、またさまざまな難しさを抱えていることもあります。ご本人が望まれるその人らしい暮らしとその人生を実現するための、家族との関係づくりや協働・連携の取り組みについての発表を募集します。

過去の 実績

	日 時	開催地	発表数
第1回	2001年 12月 1日～ 2日	岡山県笠岡市	34発表
第2回	2003年 3月22日～23日	山口県山口市	70発表
第3回	2004年 1月17日～18日	沖縄県宜野湾市	114発表
第4回	2004年 7月26日～27日	北海道札幌市	132発表
第5回	2005年 12月 4日～ 5日	京都府京都市	185発表
第6回	2007年 2月10日～11日	高知県高知市	118発表
第7回	2008年 3月15日～16日	兵庫県神戸市	145発表
第8回	2009年 3月14日～15日	兵庫県神戸市	138発表
第9回	2010年 3月13日～14日	兵庫県神戸市	140発表
第10回	2011年 3月12日～13日	兵庫県神戸市	155発表
第11回	2012年 3月10日～11日	兵庫県神戸市	134発表
第12回	2013年 3月16日～17日	兵庫県神戸市	137発表

特養・老健・医療施設ユニットケア研究会とは・・・

宅老所など小規模ケアの実践を大規模施設のなかにも取り込み、できるだけ小規模で家庭的な環境のなかで普通の暮らしを実現しようという思いから、「ユニットケア」は誕生しました。

「特養・老健・医療施設ユニットケア研究会」は、こうして取り組まれてきたユニットケアの実証的研究と普及促進を目指して、実践者と研究者の有志によって、1999年に発足しました。

同年10月、「ユニットケア」という用語がまだなかった時代に、「第1回ユニットケア全国セミナー」を福島県郡山市で開催。このセミナーでは毎回、実践者や研究者、行政関係者などが、ユニットケアの意義を深めてきました。こうした実践提案も後押しして、翌2000年度にはユニットケア施設の面積拡大の補助が認められ、2002年度には、「全室個室・ユニットケア」が制度化され、国の政策として高齢者介護施設の標準となりました。

また2001年12月には、ユニットケア施設の実践者が学会方式で実践を発表し、実践者同士が交流する、「気づきを築くユニットケア全国実践者セミナー」を岡山県笠岡市で開催。以降今回で13回目を迎えました。

研究会では、セミナーの開催や研究事業をとおして、実践者や国などに働きかけながら、施設に暮らす高齢者の暮らしがより豊かになるよう、応援しています。

第6部門

ターミナルケアから学んだこと、考えたこと、伝えたいこと

施設は、日々暮らしをおくるだけでなく、人生の最期の間となることもあります。「施設での看取りのあり方」「医療機関との連携」「看取することをとおして築かれた家族との絆」など、施設におけるターミナルケアの発表を募集します。

第7部門

一人ひとりの暮らしを支えるためのチームケアや多職種との連携

一人ひとりの暮らしを支えるには、その方向性や情報を共有するチームの構築や職種を超えた連携が必要不可欠です。時には、施設を超えた協働や連携も必要となります。ケアに関わる専門職同士が協力しながら、利用者の暮らしを、より豊かにする取り組みの発表を募集します。

第8部門

リーダーや管理者、その悩みと改革への取り組み

ユニットごとで、ケアの質に大きな差が生じることがあります。よりよいケアを提供することと、現場のさまざまな事情とのほごまで、リーダーや管理者は思い悩みます。そのようなリーダーを支え、育てていく工夫や、管理者やリーダー自らの、組織や現場の変革への取り組みの発表を募集します。

第9部門

ユニットケアを支えるスタッフの育成、工夫したこと、苦労したこと

昨今、ケアの現場では人不足が深刻な問題となっています。現場経験や知識が少ない初任者に、ユニットケアの考え方をどのように伝えていくか。いまの職員のやる気とやりがいを引き出すにはどうしたらよいか。スタッフの資質をどう伸ばしていくか、育成のための工夫や体制づくりの発表を募集します。

第10部門

災害に備える・取り組む一施設の姿勢や地域との関わり方

東日本大震災を契機に、各地で防災対策の見直しが進むなか、施設には災害時における要援護者の受け入れや福祉避難所としての機能など、地域での役割がいっそう期待されています。地震、津波、水害、火災といった災害に向けた取り組みや、地域との支え合いや関わり方についての発表を募集します。



「第13回気づきを築くユニットケア全国実践者セミナー」実践発表 申 込 用 紙

1. 発表申込欄

①発表希望部門【希望する部門の記入欄に○をつけてください】

部 門	記 入 欄	発 表 形 態	テ ー マ
第1部門		ステージ	私たちがはじめた、一人ひとりをたいせつにするケアの取り組みで変わった施設ケア(初級編)
第2部門		ステージ	一人ひとりへの3大介護のあり方とその工夫(基礎編)
第3部門		ステージ	“食”の工夫で目指す、その人らしい豊かな暮らし
第4部門		ステージ	これまでの暮らしの継続をたいせつにした生活環境づくり
第5部門		ステージ	介護者家族との協働で実現する、その人らしい暮らし方
第6部門		ステージ	ターミナルケアから学んだこと、考えたこと、伝えたいこと
第7部門		ステージ	一人ひとりの暮らしを支えるためのチームケアや多職種との連携
第8部門		ステージ	リーダーや管理者、その悩みと改革への取り組み
第9部門		ステージ	ユニットケアを支えるスタッフの育成、工夫したこと、苦労したこと
第10部門		ステージ	災害に備える・取り組む施設の姿勢や地域との関わり方
ポスター		ポスター	自由設定

②発表テーマ・発表概要(テーマは30字以内、概要は100字以内)

【テーマ】

--

【発表概要】

--

③施設名

施設種別	特養(新型・既存・地域密着型特養)・老健・医療施設・グループホーム・小規模多機能型居宅介護 その他()		
施 設 名		都道府県	

2. 使用希望視聴覚機材

■ステージ発表の方

パワーポイントの 使用有無	有 ・ 無	パワーポイント バージョン	2003 ・ 2007 ・ 2010
------------------	-------	------------------	--------------------

※パワーポイントの使用を希望される方は、パワーポイントのバージョンに○印をお書きください。

3. 発表代表者連絡先

氏 名		電 話	()
		FAX	()
住 所	〒		

	発表者氏名	施 設 名	職 名
1			
2			